

# ENGINEER

## MPDP

### ダイアリー

高崎 充弘



[Profile]

東京大学工学部卒業後、三井造船入社。米国レンスラー工科大学で修士課程修了後、(株)エンジニアの前身である双葉工具に入社。2004年に同社代表取締役社長に就任。独自の「MPDP理論」によるニッポンのモノづくり立国を提唱している。



#### 第67回 「ネジザウルス」の商標的価値の考察(3) ～商標活用とMPDPプロセス～

前号では、中小企業が商標を最大限に活用するためのステップとして、① 名前に込める願い ② 登録商標と顧客満足のリンク ③ 名は体を表す ④ 商標の恩返し——の4つをお話ししました。紙幅の関係で、前号では詳しくお伝えできませんでしたが、これはMPDPプロセスとぴったりと符合しているのです。

まず①の「名前に込める願い」では、キャッチーな名前を付けることが中小企業による商標活用の1丁目1番地であることをお話ししましたが、誰にとってキャッチーかという視点が重要なポイントです。広いマーケットのなかで、その新商品やサービスを真に待ち望んでいる潜在顧客層にピッタリと訴求するネーミングでなければなりません。自己満足の製品やサービスが受け入れられないのと同様、自己満足の商標ではヒットの可能性は低いといわざるを得ません。これはまさにMPDPの出発点であるM: Marketingのプロセスです。

次に②の「登録商標と顧客満足のリンク」ですが、市場のニーズをガッチリとつかむネーミングなのに、機能・品質がイマイチであれば、「なーんだ!」という残念な結果になります。名前負けしないように、MPDPの2番目のP: Patentのプロセスが重要です。

そして③の「名は体を表す」は、商標と意匠のシナジー効果によって自他商品の識別力がアップするという、MPDPのD: Designそのものです。

最後の④の「商標の恩返し」は登録商標を露出し続けることで、商標自身が宣伝広告機能を発揮するというMPDPのP: Promotionの重要性を表しています。「めざせ!

全国縦断。そのネジ、ウルスがはずしたる! (略称: ねじたる)」については、本稿でも何度か紹介していますが、ウルスのキャラクターがここまでネジザウルスの宣伝広告の役割を果たしてくれるようになるとは正直なところ予想していませんでした。まさに「ウルスくんの恩返し」です。

商標出願が中小企業で増えてきているのは良い傾向といえるのですが、それだけで終わっては、あまり意味がありません。せっかく知財活用の端緒についたのであれば、MPDPの考え方をベースにして①～④のステップを進めることで、M: Marketingによる出所表示機能、P: Patentによる品質保証機能、D: Designによる出所表示機能の補強、P: Promotionによる宣伝広告機能という商標の持つ3大機能がフルに発揮されると考えています。

銀: ウ: うわ～、こんなところから対談編スタートするん初めてちゃう? ちょっと出世した気分。(^^)

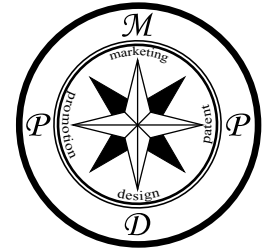
高: 前回出番が少なかったからね、その埋め合わせだよ。

ウ: 商標活用の最後のステップで、「ウルスくんの恩返し」っていわれて、メッチャうれしいですわ～ 大したことしてへんのに。

銀: いやいや、謙遜せんでええで。この10年間のウルスくんの活躍ぶりはホンマすごいと思うわ。(^^)

高: 昨年の関東編に続いての、ウルス号での「ねじたる」中部・関西編では、2カ月にわたって62店舗を巡って実演し、合計1300本を販売してくれた。猛暑や台風のなか、よく頑張ってくれたね。

ウ: 営業部だけやのうて資材部や派遣社員さんまで総勢



15人が自主的に参加してくれて、全社一丸のプロモーションでしたな。メッチャ楽しかったわ！

銀：1店舗での1日の最高販売数は56本で、お店の方もびっくり！さまざまなネジトラブルに対応できるネジザウルスの品種が増えたことと、ウルスくんを駆け寄ってきたり、記念撮影を希望したりするお子さんをきっかけに販売できた場面も多かったな。

高：文字商標「ネジザウルス」と、キャラクターとしてのウルスくん（図形商標）の相乗効果で、宣伝広告機能が高まっているんだね。

ウ：通天閣（大阪市浪速区）でゴールテープを切ったときは、ホンマ大感激やったわ！ピリケンさんとも記念撮影できたし、みんなで食べた新世界の串カツもメッチャおいしかった～。全国縦断めざして、来年も「ねじたる」頑張りませ！お近くのホームセンターで見かけたら、お声掛けくださいね！



銀：ここで、ワシからも皆さんにご報告がありまんねん！ネジザウルスシリーズ累計販売数400万本達成を記念して、ネジのSOSの緊急対応チームが結成されました。その名も「ネジレスQ隊」！

高：ネジザウルスは日々進化しているので、どんなネジにはどのネジザウルスが最適かをお伝えする必要があると考えて、専用窓口を開設することにしたんだ。まずはメールや電話による相談にお答えするよ。

ウ：万一、ネジザウルスだけでは解決できん重症のネジトラブルには、電動工具や特殊ジグ・工具など当社

所有機材を無料でお貸し出ししませ！

銀：それでもなお、ご自身で外せないネジに対しては……大阪市内であれば、「ネジレスQ隊」が、ウルス号で緊急出動します！ちなみに、不肖私めが初代隊長を仰せつかつとります。（\*^^\*）

高：世界中のSOSを検知して出動するのが国際救助隊のサンダーバードなら、ネジトラブルで困っておられる方のご自宅や職場に参上して、ネジを救出するのがわれらが「ネジレスQ隊」。

ウ：サンダーバード2号に格納されている地底救出用のジェットモグラみたいに、ウルス号に配備されているネジモグラも六角穴付きボルトの救出に活躍してほしいでんな（2018年5月号）。

銀：当社ホームページの「ネジレスQ隊」のSOS窓口から、ネジトラブルの写真と状況メッセージを送信してもらおうためのフォーマットもできましたな。

高：「あらゆるネジのトラブルを解決する」というブランドコンセプトを展開している当社ならではの、業界初、いや世界初の試みとなるだろう。

ウ：大阪市内を緊急出動する「ネジレスQ隊」のウルス号は商標露出&プロモーション効果にもなりますな。

銀：お客さまの潜在ニーズを把握し、実地検証できるので新製品開発のマーケティング効果もありそうでんな。

ウ：最後にもう一つうれしいニュースがありまんねん。所ジョージさんが特許を取得しはったみたいです。「世田谷ベース」(BSフジ)で話しておられましたわ。

銀：自作されたティッシュボックスホルダーもバッチリ映ってました。スペースが有効活用されてメッチャ便利そう。商品化されたら1個欲しいな～。（\*^^\*）

高：北野武さんと共同で発明されたクラブヘッドや、ハザードランプなどの特許出願の実績も持ちだ。これを機会に、一般の人たちへの知財活用の普及啓発にも一役買っていただければと妄想しています。（\*^^\*）